

「令和8年度富士山麓エリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくり事業支援業務委託」

【施策3～6一括委託】提案書評価基準

1 評価基準

(1) 出席した審査委員（以下、「審査委員」という。）は、下表の評価項目についてA～E（1点～5点）の5段階で評価する。

(2) 評価の考え方は、別紙「評価の視点」のとおりとする。なお、提案書に評価項目に該当する記載が無い場合は1点とする。

(3) 最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は審査委員の多数決により順位を決定する。

(4) 最低評価基準の設定

・総合得点による基準：全ての評価項目の合計得点（満点100点）について、60点未満の提案は受託候補者として特定しないものとする。

・提案内容に係る基準：「2 提案内容」の評価点（70点満点）について、40点未満の提案は、総合得点にかかわらず受託候補者として特定しないものとする。

2 評価項目	評価項目及び着目点	配点	加重倍率	評価点
1 業務遂行能力				15（小計）
(1) 類似事業の実績	施策3～6一括委託に必要な分野（人材育成、地域経営主体の体制構築、会議運営等）に関する類似業務実績を有しているか。	5	－	5
(2) 業務実施体制	施策3～6を一括して遂行できる人員体制、専門人材、役割分担、再委託管理体制が整っているか。	5	－	5
(3) 業務実施スケジュール	施策3～6の実施時期、WG・協議会、調査、研修、成果物作成、観光庁対応等を踏まえた実施スケジュールは妥当か。	5	－	5
2 提案内容				70（小計）
(1) 業務目的の理解度・一括実施の基本方針	本事業のコンセプトや目的を十分に理解し、施策3～6を一括して実施する意義、施策間の相乗効果、施策1受託者との連携、WGとの協働を前提とした提案となっているか。	5	×2	10
(2) 施策3：地域観光人材育成・ネットワークワーキング研修	令和7年度に整理された育成人材像や課題認識を踏まえ、ガイド、ドライバー及び宿泊・体験・交通事業者等(東京等からのスルーガイドやハイヤー事業者を含む)を対象とした具体的かつ段階的な研修プログラム、全国DMC招聘によるネットワークワーキング研修、講師・専門家候補、成果KPI及び人材育成計画改定の方法が具体的かつ実効性のある提案となっているか。	5	×2	10
(3) 施策4：ヤド確保・宿泊環境高度化	宿泊事業者への需給調査、調査結果の整理、施策1をはじめとする他施策との連動、既存宿泊施設の底上げ整備計画、宿泊事業者の協議会への巻き込み、宿泊施設向け研修、FAMトリップ等の評価・改善意見の活用、ヤドのロードマップ更新及びヤド確保計画作成の手法が具体的か。	5	×2	10
(4) 施策5：推進体制強化・地域経営主体設立準備	協議会・WG運営、合意形成、地域経営主体の設立に向けた検討・準備について、具体性・実現性・スピード感のある提案となっているか。	5	×3	15
(5) 施策6：マスタープラン改定・KGI／KPI測定・経済波及効果測定	既存マスタープランの課題分析、コアバリューを踏まえた改定、KGI／KPIの測定・分析、経済波及効果測定、令和9年度事業実施計画への反映方法が具体的かつ実効性のある提案となっているか。	5	×3	15
(6) 施策横断：事業全体マネジメント・評価対応・成果統合	施策1受託者を含む関係者との情報共有、進捗管理、課題・リスク管理、観光庁評価への対応、施策3～6の成果物及び施策1～6全体の成果の統合的な取りまとめについて、具体的かつ実効性あるマネジメントスキームが示されているか。	5	×2	10
3 価格点				5（小計）
見積価格	施策3～6の内訳、積算根拠、委託費総額は妥当か。	5	－	5
4 その他				10（小計）
特記すべき提案	目的実現のための独自提案、業務品質を高める追加提案、持続的な地域実装につながる提案など、特記すべき提案があるか。	5	×2	10
合計				100

評価の視点（施策３～６一括委託）

評価の視点	評価項目	評価の着目点	A（5点）	B（4点）	C（3点）	D（2点）	E（1点）	加重倍率	評価点
業務遂行能力	(1) 類似事業の実績	施策３～６一括委託に必要な分野（人材育成、地域経営主体の体制構築、会議運営等）に関する類似業務実績を有しているか。	本業務に関連する類似業務実績が5件以上あり、複数分野を横断している	本業務に関連する類似業務実績が2～4件ある	本業務に関連する類似業務実績が1件ある	類似業務実績はあるが本業務との関連が薄い	類似業務実績が無い又は確認できない	－	5
業務遂行能力	(2) 業務実施体制	施策３～６を一括して遂行できる人員体制、専門人材、役割分担、再委託管理体制が整っているか。	施策３～６を一括遂行する専門性・人員・管理体制が万全である	標準以上の体制が組まれている	妥当な体制である	一部不安があるが実施は可能と見込まれる	体制に不安があり実施が難しい	－	5
業務遂行能力	(3) 業務実施スケジュール	施策３～６の実施時期、WG・協議会、調査、研修、成果物作成、観光庁対応等を踏まえた実施スケジュールは妥当か。	全施策・会議・成果物・観光庁対応を踏まえ十分検討され高く評価できる	十分検討され評価できる	妥当である	一部スケジュールに不安がある	スケジュールが整っていない	－	5
提案内容	(1) 業務目的の理解度・一括実施の基本方針	本事業のコンセプトや目的を十分に理解し、施策３～６を一括して実施する意義、施策間の相乗効果、施策１受託者との連携、WGとの協働を前提とした提案となっているか。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分である	不十分である又は記載がない	×2	10
提案内容	(2) 施策３：地域観光人材育成・ネットワーキング研修	令和７年度に整理された育成人材像や課題認識を踏まえ、ガイド、ドライバー及び宿泊・体験・交通事業者等(東京等からのスルーガイドやハイヤー事業者を含む)を対象とした具体的かつ段階的な研修プログラム、全国DMC招聘によるネットワーキング研修、講師・専門家候補、成果KPI及び人材育成計画改定の方法が具体的かつ実効性のある提案となっているか。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分である	不十分である又は記載がない	×2	10
提案内容	(3) 施策４：ヤド確保・宿泊環境高度化	宿泊事業者への需給調査、調査結果の整理、施策１をはじめとする他施策との連動、既存宿泊施設の底上げ整備計画、宿泊事業者の協議会への巻き込み、宿泊施設向け研修、FAMトリップ等の評価・改善意見の活用、ヤドのロードマップ更新及びヤド確保計画作成の手法が具体的か。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分である	不十分である又は記載がない	×2	10
提案内容	(4) 施策５：推進体制強化・地域経営主体設立準備	協議会・WG運営、合意形成、地域経営主体の設立に向けた検討・準備について、具体性・実現性・スピード感のある提案となっているか。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分である	不十分である又は記載がない	×3	15
提案内容	(5) 施策６：マスタープラン改定・KGI／KPI測定・経済波及効果測定	既存マスタープランの課題分析、コアバリューを踏まえた改定、KGI／KPIの測定・分析、経済波及効果測定、令和９年度事業実施計画への反映方法が具体的かつ実効性のある提案となっているか。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分である	不十分である又は記載がない	×3	15
提案内容	(6) 施策横断：事業全体マネジメント・評価対応・成果統合	施策１受託者を含む関係者との情報共有、進捗管理、課題・リスク管理、観光庁評価への対応、施策３～６の成果物及び施策１～６全体の成果の統合的な取りまとめについて、具体的かつ実効性あるマネジメントスキームが示されているか。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分である	不十分である又は記載がない	×2	10
価格点	見積価格	施策３～６の内訳、積算根拠、委託費総額は妥当か。	施策別内訳が細分化され、根拠も明確で高く評価できる	根拠が明確で評価できる	妥当である	根拠が曖昧である	根拠が著しく曖昧で事業遂行に不安がある	－	5
その他	特記すべき提案	目的実現のための独自提案、業務品質を高める追加提案、持続的な地域実装につながる提案など、特記すべき提案があるか。	特に優れた独自提案である	優れた独自提案である	標準的な独自提案である	不十分な独自提案である	独自提案が無い又は効果が見込めない	×2	10